

### いくつかの数の乗法

いくつかの数の乗法は、下のように計算する。

・符号: 負の数の個数が偶数個のとき、正の符号になる。

負の数の個数が奇数個のとき、負の符号になる。

・絶対値: それぞれの数の積になる。

・負の数の個数が偶数個のとき

$$(-7.2) \times (-4.1) = + (7.2 \times 4.1) = +29.52$$

↑ ↑ ↑  
それぞれの数の積になる

↓ ↓ ↓  
負の数が2個(偶数個)で、正の符号になる

・負の数の個数が奇数個のとき

$$(-7.2) \times (-4) \times (-2.1) = - (7.2 \times 4 \times 2.1) = -60.48$$

↑ ↑ ↑  
それぞれの数の積になる

↓ ↓ ↓  
負の数が3個(奇数個)で、負の符号になる

**1** 次の計算をしなさい。

①  $(-2.3) \times (+4.2) \times (-5)$

②  $(-3.5) \times (+7) \times (+9.1)$

③  $(-4) \times (-9.7) \times (-6.5)$

④  $(+8.2) \times (-3.3) \times (-5)$

⑤  $(+1.3) \times (+5) \times (-7.2)$

⑥  $(-8) \times (-2.4) \times (+9.3)$

### いくつかの数の乗法

いくつかの数の乗法は、下のように計算する。

・符号: 負の数の個数が偶数個のとき、正の符号になる。

負の数の個数が奇数個のとき、負の符号になる。

・絶対値: それぞれの数の積になる。

・負の数の個数が偶数個のとき

$$(-7.2) \times (-4.1) = + (7.2 \times 4.1) = +29.52$$

↑ ↑ ↑  
それぞれの数の積になる

↓ ↓ ↓  
負の数が2個(偶数個)で、正の符号になる

・負の数の個数が奇数個のとき

$$(-7.2) \times (-4) \times (-2.1) = - (7.2 \times 4 \times 2.1) = -60.48$$

↑ ↑ ↑  
それぞれの数の積になる

↓ ↓ ↓  
負の数が3個(奇数個)で、負の符号になる

1 次の計算をしなさい。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad & (-2.3) \times (+4.2) \times (-5) \\ & = + (2.3 \times 4.2 \times 5) \\ & = +48.3 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad & (-3.5) \times (+7) \times (+9.1) \\ & = - (3.5 \times 7 \times 9.1) \\ & = -222.95 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{3} \quad & (-4) \times (-9.7) \times (-6.5) \\ & = - (4 \times 9.7 \times 6.5) \\ & = -252.2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{4} \quad & (+8.2) \times (-3.3) \times (-5) \\ & = + (8.2 \times 3.3 \times 5) \\ & = +135.3 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{5} \quad & (+1.3) \times (+5) \times (-7.2) \\ & = - (1.3 \times 5 \times 7.2) \\ & = -46.8 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{6} \quad & (-8) \times (-2.4) \times (+9.3) \\ & = + (8 \times 2.4 \times 9.3) \\ & = +178.56 \end{aligned}$$